

まさきだより

令和7年7月18日

授業にワクワクしている

教科担任制を実施して3か月が経過したことから、子どもたちにアンケートをとりました。結果を公表します。

- 質問1 教科担任制や交換授業で、授業はよくわかるようになりましたか。
回答1 はい：247人 いいえ：10人、どちらでもない58人
質問2 どの教科の授業が、よくわかるようになりましたか？ 最大3つの教科まで
回答2 (多い順に) 算数、理科、体育
質問3 教科担任制や交換授業は、中学校に進学したときに、中学校の学習や生活にすぐになれるために、役に立つと思いますか
回答3 はい：222人、いいえ6人、わからない87人
質問4 教科担任制や交換授業になって、学級担任の先生以外にも相談できる先生はいますか
回答4 いる：166人 いない22人、 わからない127人

アンケート対象学年：4年生、5年生、6年生、7月実施

(欠席者のため、在籍数とは一致しません)

【記述式】

- 中学生になって、役に立つから続けてもいいと思う。中学生になった時に困らなくなる。
- 去年と違うけど、いろいろな先生としゃべることができて、苦手だった教科は、教科担任制になって、できるようになった。いっぱいできるようになって、すごく授業も楽しいし、楽しく勉強ができるのでいい。
- 教科担任制になり、今まで苦手だった授業が「楽しい」と思えるようになってきて、授業にワクワクしている。とっても授業が楽しい。
- 私は、今年から教科担任制になると聞いてどうなるのかなと思っていましたが、みんな優しく、丁寧に教えてくれて、うれしい。心配することはなかったし、逆に自分のためにもなると思いました。
- 担任の先生とのかかわりの時間が減ってしまう。
- 行事の時に、時間を十分に使うことができない。

教科担任制の目的は、教科の専門の先生が教えることにより、子どもたちに確かな学力を身に付けることにあります。また、中学校へ進学したときに、中学校の生活にスムーズに慣れることも目的の一つです。不登校は、小学校6年生から中学校1年生にかけて急激に増えています。(令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に対する調査結果による) 不登校について把握した事実によると、小学校、中学校ともに「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」と回答した割合が最も多い結果でした。(同調査による)

「授業にワクワクする」と一人でも多くの児童が感じてもらえるように授業改善に取り組めます。フリー参観を10月22日に予定しています。高学年は、教科担任による授業を予定していますので、よろしくお願いします。 校長 花村 伸二